



綾ユネスコ エコパークでは地域住民の声を活かした「まちづくり」を実践します。

人と自然が共生する町、みんなの夢が叶う町・綾

 自然豊かで にぎわう町	 住みやすい 安全な綾町に すみたい!	 キラキラ輝く町	 自治公民館活動を みんなで	 子どもの笑顔が1番
 安心安全に 暮らせる町	 元気な野菜が ハツラツ	 自然が身近に ある町	 子どもから 大人まで安心して 暮らす町	 また来たい町 移住したい町
 自然と共生 できる町	 子どもから お年寄りまで笑顔で 笑い声がひびく町		 自然豊かな 癒しの空間 綾!	 みんなが笑顔で 暮らせる町
 Google検索 No.1の町	 子供たちが安全に 暮らせる町	 町民皆が協力 しあえる町	 世界に評価 される町	 自然豊かな町
 愛LOVE綾	 綾町らしい町	 きらきら輝く町	 綾が好き	 みんなが笑顔で 愉しく暮らせる街に なりたいです

綾エコパークほんもの倶楽部
綾ユネスコエコパークでは、住民によるまちづくりを推進する組織として「綾ユネスコエコパークまちづくり協議会」を設立しました。まちづくりのアイデアを集約するワークショップ、官民一体となった計画づくりや、地場製品の販売促進を目的とした「綾エコパークほんもの倶楽部」というブランド認証制度などに取り組んでいます。

綾町 綾ユネスコエコパーク推進室
〒880-1392 宮崎県東諸県郡綾町大字南俣515
TEL 0985-77-3482 (直通) FAX 0985-77-2094 (代表) E-mail aya.BR.2012@town.aya.lg.jp



自然と共生する
照葉樹林都市

綾



綾町のマスコット「もりりん」

ユネスコエコパーク



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



- Aya Biosphere Reserve
- Biosphere Reserve since 2012
- Man and the Biosphere Programme
- ユネスコエコパーク

宮崎県綾町

自然と共に生き、人と共に生きるまち 綾ユネスコエコパーク

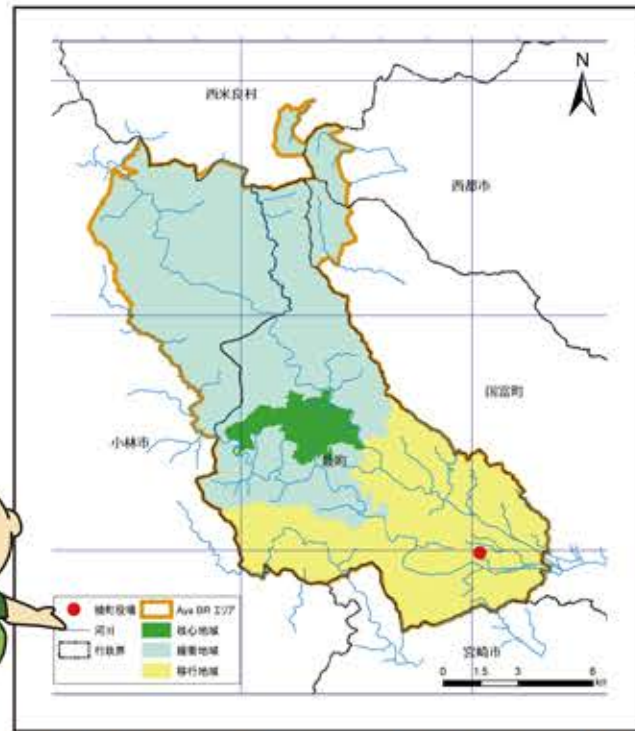
綾町は2012年7月11日、国内では32年ぶり5カ所目の「ユネスコエコパーク」に登録されました。過去の4ヶ所は国主導で手続きされたもので、自治体が主導して登録に結びつけたのは、国内では綾町が初めてです。2014年6月現在、世界119カ国631地域がユネスコエコパークに登録されています。

豊かな生態系や生物多様性を守り、自然の恵みを受けながら文化的・経済的に持続可能な発展を目指す地域のモデルとして、半世紀にわたるこれまでのまちの取り組みをさらに充実させていくことを目指します。

ユネスコエコパーク

(Biosphere Reserves=生物圏保存地域)

はユネスコ「人間と生物圏 (Man and Biosphere) 計画」の一事業として、1976 (昭和51)年に始まりました。より親しみを持ってもらうために、国内では2010 (平成22)年から「ユネスコエコパーク」という愛称で呼ばれています。綾町の照葉樹林の保護地域を核に宮崎県の2市2町1村にわたるエリアが指定されています。



ユネスコエコパーク3つの機能

生物多様性の保全

照葉樹林が育む豊かな自然環境と多様な生物の保護・保全に取り組みます

学術的研究支援

科学的な調査や研究、教育、研修の場を提供し、人材育成にも取り組みます

経済と社会の発展

自然環境と調和した持続可能な地域社会の発展を目指し、国内外のモデルとなる取り組みを行います

1本の木を「生物圏」と考えると、命の基盤となる土と水と根が「核心地域」。命を育む大気や幹・葉が「緩衝地域」。成熟した果実等を利活用する「移行地域」に例えることもできるよネ。



ユネスコエコパーク 3つのゾーン



核心地域 (コアゾーン)

世界の財産として高く評価される自然生態系を持つ地域。法律に基づいて厳重に守られる。

緩衝地域 (バッファゾーン)

核心地域を保護する役割を持つ。自然環境に負担がかからない範囲で、環境教育や調査研究、レジャーなどに利用できる。綾ユネスコエコパークでは小林市、西都市、国富町、西米良村の一部が含まれる。

移行地域 (トランジションゾーン)

人々が自然と共生しながら持続的な暮らしを営む地域。さまざまな社会活動や経済活動ができる。世界自然遺産にはない、ユネスコエコパークの大きな特徴のひとつ。

綾ユネスコエコパークを支える豊かな自然環境

照葉樹林とは・・・

- ・冬でも落葉しない広葉樹で、葉の表面のクチクラ層が発達した、光沢の強い深緑色の葉を持つためこう呼ばれています。
- ・日本ではシイ、カシ類がこれにあたり、アジア大陸東岸の西南日本、台湾、中国南部、ヒマラヤ南麓にかけて分布し、主に降水量の多い亜熱帯から暖温帯に分布する常緑広葉樹林です。
- ・照葉樹林が成立する東アジア地域に、みそ、しょうゆ、納豆をはじめ、衣・食・住・神話・儀礼等、共通の文化(照葉樹林文化)が見られます。

綾の森の特徴

- ・東アジアの照葉樹林の北限付近にあり、多くの日本固有の生き物が暮らしています。
- ・残された日本最大級の照葉樹自然林を中心として、標高約1,000m以上のエリアには氷河期の名残りとしての夏緑広葉樹の自然林も残されており、西南日本の森林自然の縮図を見ることができます。



ナゴラン



ニホンカモシカ



ベッコウサンショウウオ



ツクシアケボノツツジ



イチイガシ



溪流



緑豊かな照葉樹林



花の多いブナ林

綾町のこれまでの取り組み

I. 19xx-1975 II. 1976-1985 III. 1986-1995 IV. 1996-2005 V. 2006~20xx

拡大造林政策

- 1962年~1970年 第一次全国総合開発計画
- 1982年5月九州中央山地国定公園へ編入

国の動き

- 1953年~1960年 綾川総合開発事業(綾南/綾北ダム建設)

宮崎県の動き

郷田實町政 1966年~1990年

- 1965年4月 自治公民館発足
- 1973年 一坪菜園運動
- 1975年 綾町の自然を守る条例
- 1976年 青空市場の開設
- 1981年 家畜糞尿処理施設の設置

前田穰町政 1990年~

- 1984年~1989年 あや市(毎週日曜日)の開催
- 1984年3月 綾の照葉大吊橋完成
- 1985年 第1回照葉樹林文化を考えるシンポジウム開催
- 1988年 自然生態系農業の推進に関する条例
- 1989年6月 綾手づくりほんものセンター開設
- 1989年7月 有機農業開発センター設置(有機農産物認証制度)グランドオープン

- 2005年5月~綾の照葉樹林プロジェクト(国・県・町・NGO・市民団体)

2012年7月
ユネスコ
エコパーク
登録

綾町の動き

- 2002年10月~「綾の照葉樹林を世界遺産に」署名運動
- 2003年12月「照葉樹林の回廊構想」が環境省「NGO/NPO・企業政策提言」に選出

民間の動き

どうして綾町はエコパークに登録されたの？

今までの取り組みを活かしながら綾町の未来を官民一体となって創っていきます！

世界遺産の登録には優れた自然環境または文化が残されており、国内法によって適切な保護管理体制がとられていることが必要です。

一方、ユネスコエコパークは、既存の法的保護制度と保全管理計画が整っていること、そして保護されている自然環境を利活用しながら生活する地域住民が、持続可能な経済活動・社会活動を行っていることが求められます。

日本国内では、世界遺産に登録されると観光客が増加すると言われていますが、欧米やアジア諸国ではユネスコエコパークのほうがより多くの観光客を集めている地域もあります。

「ユネスコエコパーク」というタイトルを、地域にどう活かしていけるのかは、地域に住む人々の取り組み次第で異なるのです。



ユネスコ エコパークを活用した理想のまちづくりを目指して!

ユネスコエコパークを活かしたまちづくりを推進するためには、地域住民の積極的な参加が欠かせません。それは、移行地域＝住民が暮らし、持続可能な経済・社会活動を行う地域の発展が重要だからです。

2014年8月に設立された「綾ユネスコエコパークまちづくり協議会」は、地域住民がまちづくりのさまざまなアイデアを積極的に出し合い、実現できるよう取り組んでいく組織です。住民と行政・学術機関・企業が連携しながら、これまでの綾町の取り組みをより充実させたり、自然環境を活かした新たな観光や商品開発、町並み整備によるまちのにぎわいを創出したりすることで、豊かで暮らしやすいまちの実現を目指します。

また、ユネスコエコパーク登録と綾小学校・綾中学校のユネスコスクール承認（2014年）により、その手法やネットワークを利用して、子どもたちは環境や国際理解などについてよりよく学ぶ機会を得られるようになりました。豊かな知識や経験と、健全な心身を育むことができる教育文化都市としても大きな一歩を踏み出したのです。

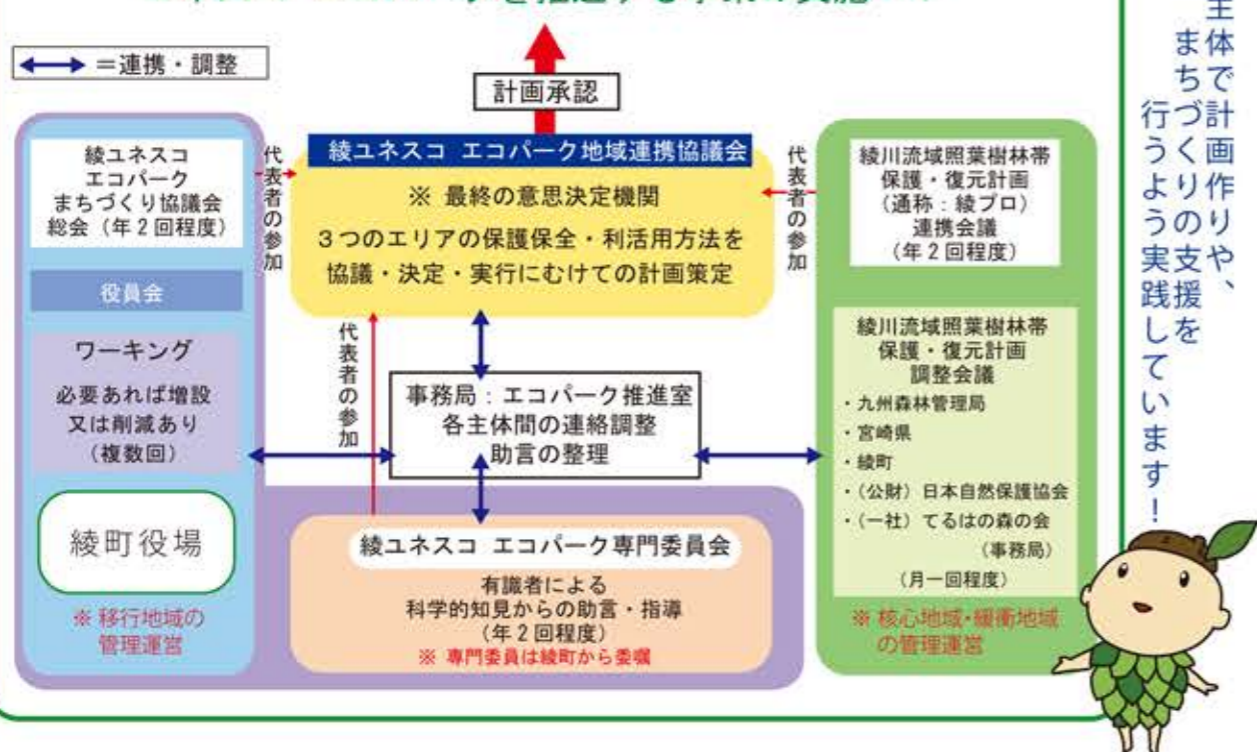
綾町に住まうすべての人が、まちに誇りを持ち、笑顔で健康に暮らしている様子を想像してみてください。

夢は無限大です!

ひとりひとりができることから始めていきましょう。

綾ユネスコエコパークを推進する連携の仕組み

ユネスコエコパークを推進する事業の実施へ!

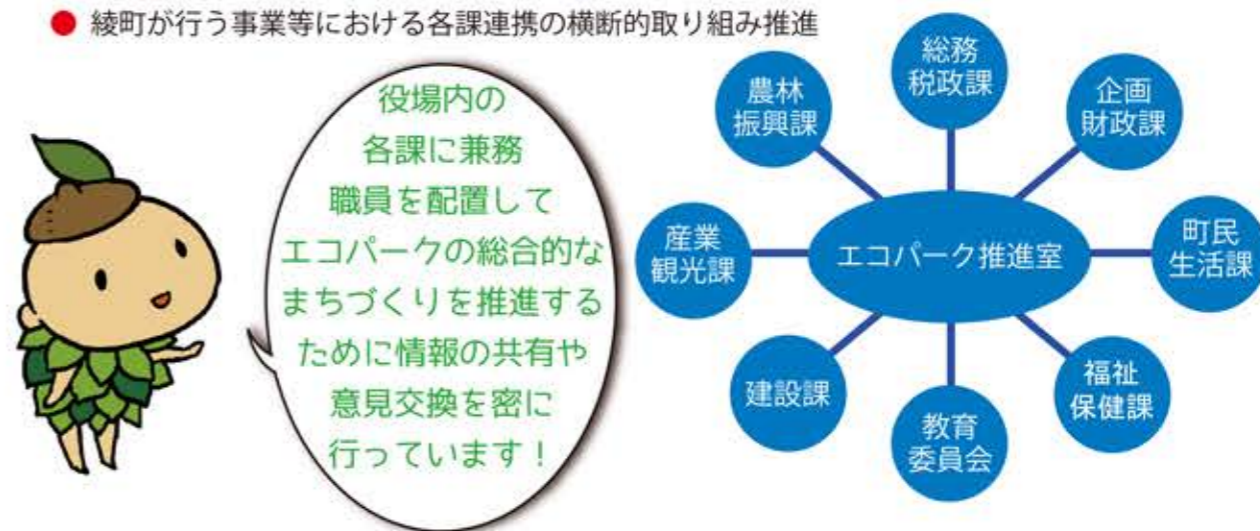


綾町のデータ

- 位置 宮崎市から北西24km
- 面積 9,519ha ※ うち80%が森林
- 人口 約7,300人
- 指定 九州中央産地国定公園(S57)、日本の自然百選(S58)、森林浴の森百選(S61)、水源の森百選(H7)
- 理念 自然と調和した“豊かで活力に満ちた教育文化都市”
親子三代で楽しい暮らしのできる“まちづくり”を推進し、すべての町民が快適な生活を送り、ロマンと生きがいのある町を建設するため、産・学・住の充実強化に努める。

綾ユネスコエコパーク推進室の組織と役割

- エコパーク推進のためのまちづくりのコーディネート
- 保護・管理計画の策定および運用（10年ごとに審査）
- 視察や研究者の受け入れ対応
- 綾町が行う事業等における各課連携の横断的取り組み推進



綾川流域照葉樹林帯保護復元計画（綾の照葉樹林プロジェクト）

2005年5月、九州森林管理局・宮崎県・綾町・（公財）日本自然保護協会・てるはの森の会の5者が協定を取り交わし、日本に残された最後の広大な照葉樹の森を保護・復元していくプロジェクトです。人工林で分断された照葉樹の森を本来の姿に100年かけて復元する官民一体の計画です。

人工林から照葉樹林への復元イメージ

